

令和6年度第3回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会

令和7年2月18日

配 付 資 料

- 令和6年度 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿・・・・・・・・・・ P 1
- 【資料1】 令和6年度第2回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会の概要・・・・ P 2
- 【資料2】 鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況・・・・・・・・ P 5
①令和7年度 ②令和6年度 ③令和5年度
- 【資料3】 再掲：鈴鹿亀山地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）・・・・ P 8
- 【資料4】 再掲：鈴鹿亀山地域の中学校卒業生進路先の推移・・・・・・・・・・ P 9
- 【資料5】 再掲：鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況・・・・ P 10
- 【資料6】 再掲：鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて（令和7年度） P 11
- 【資料7】 鈴鹿亀山地域の県立高等学校における学びのバリエーション・・・・・・・・ P 12
- 【資料8】 再掲：鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等・・・・ P 13
- 【資料9】 再掲：鈴鹿亀山地域の県立高校に関するアンケート結果について・・・・ P 15
- 【資料10】 これまでの協議会における主な意見・・・・・・・・・・・・・・・・ P 22
- 【資料11】 再掲：令和21年度までの鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の
総学級数と当協議会の協議について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 25

令和6年度 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No	区 分	所 属 等	名 前
1	学識経験者	三重大学教育学部 准教授	市川 俊輔
2	地域有識者	鈴鹿商工会議所 専務理事	内藤 俊樹
3		亀山商工会議所 専務理事	山本 安夫
4	市町教育委員会 教育長	鈴鹿市教育委員会 教育長	廣田 隆延
5		亀山市教育委員会 教育長	中 原 博
6	県立高等学校長代表	県立飯野高等学校 校長	今 高 成 則
7	小中学校長代表	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 校長	羽山 哉美
8	小中学校PTA代表	鈴鹿市PTA連合会 代表 (鈴鹿市立桜島小PTA 会長)	村田 多恵子
9		亀山市PTA連合会 代表 (亀山市立川崎小PTA 会長)	佐久間 淳司
10	高等学校PTA代表	高等学校PTA連合会 代表 (県立亀山高等学校PTA 会長)	藤井 千恵子
11	小中学校教職員代表	鈴鹿市立庄内小学校 教諭	谷口 哲也
12	高等学校教職員代表	県立神戸高等学校 教諭	和田 馨

令和6年度第2回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会の概要

- 1 日時 令和6年12月9日（月）19時00分から21時00分まで
- 2 場所 三重県鈴鹿庁舎 46会議室
- 3 概要

令和5年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する15年先までの当地域の中学校卒業生数の減少の状況や、中学生と保護者へのアンケート結果をふまえながら、当地域において15年先に求められる（実現したい）学びや高校のあり方、令和10年度以降に想定される県立高校の学級減への具体的な対応の方向性について協議を行いました。

主な意見は次のとおりです。

《鈴鹿亀山地域で実現したい学びや高校のあり方について》

- 地元経済界としては、まずは社会人としてのマナーや基本的生活習慣を身につけてもらった上で、DXに関わる教育や金融教育に力を入れてもらいたい。
- 保護者としては、大学進学や就職など、子どもたちの進路実現につながる学びを重視してもらいたい。
- アンケート結果を見ると、子どもたちは学校行事や部活動など、授業以外の活動にも期待していることがうかがえる。こうした子どもたちの思いをふまえ、地域のイベントに参加したり、協力したりするなど、地域社会とのつながりの中での学びがより充実することを期待したい。
- 中学校段階で、将来の進路を明確に決めるのは難しい生徒も多いため、稲生高校の普通科のように、多様なコースの中から、入学後に自分の興味関心に応じてコースを選択できるのは大きな魅力となっている。また、工業や商業などの専門学科と同じような資格取得が可能となれば、より魅力が高まるのではないかと。専攻科の設置など、当地域の魅力や特徴を生かした新しい取組を検討してみてはどうか。
- アンケート結果を見ると、少子化の中にあっても子どもや保護者の希望は今も昔も大きくは変わらないように感じる。学級減に伴う教員数の減少を補うため、オンラインで学校間をつないで授業を行ったり、大学との連携を進めて、大学生との交流を増やしたりしてはどうか。
- 地元で働きたいと考えている子どもたちに対し、将来、地域での活躍につながる特色のある学科を設置したり、地域の大学と連携して、高校から大学まで一貫した教育を進めていったりするといった方向性も考えられるのではないかと。

- 小学生にとって高校生は憧れの存在であるため、高校生が小学生に専門性を生かした出前授業をしてくれたり、地域の行事で輝いている高校生の姿を小学生が見たりする機会を増やせると、地域の高校に進学したいと思う子どもたちを増やすことができるのではないかな。
- 小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者からは、特別支援学校の高等部ではなく、県立高校への進学を考えた場合、選択肢が限られるという声を聞く。特別な支援を必要とする子どもたちや外国につながる子どもたち、不登校の子どもたちが増えている中で、こうした子どもたちが高校で安心して学べる教育環境を保障してほしい。
- アンケートでは高校の部活動に期待する声も大きいですが、中学校において部活動の地域移行についての議論が進められる中、高校の部活動を今後どうしていくのかについても重要な課題となるのではないかな。

《令和 10 年度以降に想定される当地域の県立高校の学級減への具体的な対応の方向性について》

- 令和 10 年度以降も中学校卒業者数はさらに減少していくことを見据え、県立高校の学びと配置のあり方を考えていく必要がある。また、令和 7 年度中に、協議会としての一定の結論を出すためにもスケジュール感を持って協議を進める必要がある。
- 少子化が進む中、全国的に高校の統廃合が避けられないことは理解するが、多くの生徒が隣接地域の職業系専門学科へ進学していることをふまえると、まずは当地域に工業や商業などの職業学科を設置することが先決ではないかな。
- 中学校卒業者数が減っていく中にあるのは、新たに 40 人単位の専門学科を設置するよりも、現在普通科に設置されている人数に縛られない専門性の高いコースを充実させることで、学びの選択肢を維持していくほうがよいのではないかな。
- 学級数の減少により教員数が減ったとしても、それまでのような手厚い教育を保障していくために、学年制から単位制への移行や教育課程の見直しを検討している高校もある。
- 国公立大学や難関私立大学への進学ニーズに応える一定規模の普通科高校が当地域に必要であり、各教科の教員数などをふまえると、理想は 1 学年 8 学級、最低でも 6 学級はあったほうがよい。

- 学校規模が大きくなると教員数も増えるため、多様な選択科目を開講できたり、学校行事や部活動が活発になったりする。小規模校ならではの魅力もあるが、子どもたちがさまざまな選択ができるという点においては、統合によるスケールメリットは大きいと感じている。
- アンケート結果を見ると、小学校、中学校、高校と校種があがるにつれて、だんだんと大きな集団の中で学び、多種多様な選択肢から自分にあったものを選んで社会に出ていくといった教育環境が求められているのは、今も昔も変わらないと感じる。こうした環境を維持するため、これまでに統合を行った高校のその後についての検証も行いながら、当地域の高校の再編について検討を進めてほしい。
- 参考資料を見ると、高校ではある程度の学級数がないと充実した教育そのものが難しくなることが想定される。当地域は、他地域と比べると小規模の高校が多いことから、通学環境も考慮して、近鉄沿線に高校を統合していくほうがよいのではないかな。
- アンケート結果から、小規模校を望む声は一定数あるため、仮に再編することになったとしても、小規模校で行ってきた学びは、地域の高校で引き継いでいく必要がある。
- 現在の高校が、それぞれの特色を生かして存続できるとよいと思う一方で、通学時間を考慮する必要があるが、統合してよりよい学校ができるのであれば、それでよいとも感じている。
- 中学校段階で自身の進路が明確となっている子どもは少なく、高校に入ってから自分のやりたいことを見つけたいという生徒が多い。そのため、再編したとしてもオーソドックスな普通科は残してほしい。
- アンケート結果から、「積極的に統合すべき」、「一定の統合は避けられない」という回答が7割を超えており、当地域でも県立高校6校の再編も含めた検討を進めていかなければならない。そのためにも、事務局から具体的な対応について、複数の案を示してほしい。

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和7年度:現中3】

学校名	学科・コース	R7 入学 定員	R6. 12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	200	197	▲ 3				200							
	理数	80	127	47	40	100	40	40							
	計	280	324	44	40	100	40	240							
飯野	応用 デザイン	80	84	4	80	83	80								
	英語 コミュニケーション	80	77	▲ 3	40	75	44	36							
	計	160	161	1	120	158	124	36							
白子	普通	160	163	3	48	154	53	107							
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	46	6	40	45	40								
	生活創造	40	47	7	20	46	22	18							
	計	240	256	16	108	245	115	125							
石薬師	普通	80	74	▲ 6	40	76	44	36							
	計	80	74	▲ 6	40	76	44	36							
稲生	普通	120	118	▲ 2	36	102	40	80							
	体育	40	62	22	40	70	40								
	計	160	180	20	76	172	80	80							
亀山	普通	80	81	1	24	71	27	53							
	システムメディア	80	107	27	40	94	44	36							
	総合生活	40	37	▲ 3	20	40	22	18							
	計	200	225	25	84	205	93	107							
地域内県立高校 計		1,120	1,220	100	468	956	496	624							

○後期選抜出願書類受付
2月21日～26日

○後期選抜志願変更書類受付
3月3日～5日

○後期選抜検査
3月10日

○合格者の発表
3月17日

○後期選抜追検査
・再募集検査
3月21日

○合格者の発表
3月25日

※「R6.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和6年度:現高1】

学校名	学科・コース	R6 入学 定員	R5. 12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	240	211	▲ 29				240	170	240				239	1
	理数	80	142	62	40	119	41	39	153	39				80	0
	計	320	353	33	40	119	41	279	323	279				319	1
飯野	応用 デザイン	80	90	10	80	91	80							80	0
	英語 コミュニケーション	80	79	▲ 1	40	84	43	37	41	37				80	0
	計	160	169	9	120	175	123	37	41	37				160	0
白子	普通	200	204	4	60	165	66	134	143	134				201	0
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	35	▲ 5	40	39	39				1	0	0	39	1
	生活創造	40	31	▲ 9	20	30	22	18	19	18				40	0
	計	280	270	▲ 10	120	234	127	152	162	152	1	0	0	280	1
石薬師	普通	120	79	▲ 41	36	75	38	82	77	75	7	14	7	120	0
	計	120	79	▲ 41	36	75	38	82	77	75	7	14	7	120	0
稲生	普通	120	136	16	36	135	40	80	98	80				120	0
	体育	40	62	22	20	61	22	18	24	18				40	0
	計	160	198	38	56	196	62	98	122	98				160	0
亀山	普通	80	91	11	24	78	27	53	63	53				80	0
	システムメディア	80	86	6	40	85	44	36	36	36				80	0
	総合生活	40	40	0	20	41	22	18	22	18				40	0
	計	200	217	17	84	204	93	107	121	107				200	0
地域内県立高校 計		1,240	1,286	46	456	1003	484	755	846	748	8	14	7	1,239	2

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R5.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和5年度:現高2】

学校名	学科・コース	R5 入学 定員	R4. 12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	200	188	▲ 12				200	158	200				200	0
	理数	80	140	60	40	127	40	40	138	40				80	0
	計	280	328	48	40	127	40	240	296	240				280	0
飯野	応用 デザイン	80	98	18	80	98	80							80	0
	英語 コミュニケーション	80	66	▲ 14	40	70	44	36	33	32	4	0	0	76	4
	計	160	164	4	120	168	124	36	33	32	4	0	0	156	4
白子	普通	160	159	▲ 1	48	140	53	107	107	107				160	0
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	26	▲ 14	40	25	25				15	0	0	25	15
	生活創造	40	39	▲ 1	20	39	22	18	18	18				40	0
	計	240	224	▲ 16	108	204	100	125	125	125	15	0	0	225	15
石薬師	普通	120	75	▲ 45	36	69	40	80	79	75	5	5	5	121	0
	計	120	75	▲ 45	36	69	40	80	79	75	5	5	5	121	0
稲生	普通	120	113	▲ 7	36	108	40	80	88	80				120	0
	体育	40	42	2	20	47	22	18	15	18				40	0
	計	160	155	▲ 5	56	155	62	98	103	98				160	0
亀山	普通	80	108	28	24	92	27	53	73	53				80	0
	システムメディア	80	101	21	40	99	44	36	47	36				80	0
	総合生活	40	33	▲ 7	20	30	22	18	16	18				40	0
	計	200	242	42	84	221	93	107	136	107				200	0
地域内県立高校 計		1,160	1,188	28	444	944	459	686	772	677	24	5	5	1,142	19

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R4.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

鈴鹿亀山地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

（令和 6 年度第 1 回協議会【資料 6】再掲）

		令和6年5月1日 教育政策課調査														
		R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 現中3	R 8.3 現中2	R 9.3 現中1	R 10.3 現小6	R 11.3 現小5	R 12.3 現小4	R 13.3 現小3	R 14.3 現小2	R 15.3 現小1		
鈴鹿市	卒業者数	1,839	1,988	1,798	1,973	1,809	1,774	1,773	1,659	1,683	1,653	1,640	1,484	1,406		
	前年度対比		149	-190	175	-164	-35	-1	-114	24	-30	-13	-156	-78		
	R6.3対比					-164	-199	-200	-314	-290	-320	-333	-489	-567		
亀山市	卒業者数	420	421	423	440	458	481	445	458	427	443	426	404	377		
	前年度対比		1	2	17	18	23	-36	13	-31	16	-17	-22	-27		
	R6.3対比					18	41	5	18	-13	3	-14	-36	-63		
小計	卒業者数	2,259	2,409	2,221	2,413	2,267	2,255	2,218	2,117	2,110	2,096	2,066	1,888	1,783		
	前年度対比		150	-188	192	-146	-12	-37	-101	-7	-14	-30	-178	-105		
	R6.3対比					-146	-158	-195	-296	-303	-317	-347	-525	-630		
県内合計	卒業者数	15,777	16,244	16,055	15,891	15,712	15,488	15,241	14,769	14,404	14,000	14,049	13,442	12,792		
	前年度対比		467	-189	-164	-179	-224	-247	-472	-365	-404	49	-607	-650		
	R6.3対比					-179	-403	-650	-1,122	-1,487	-1,891	-1,842	-2,449	-3,099		

鈴鹿亀山 地域高校 (県立全日)	学級数(募集)	30	31	29	31	28
	欠員	30	36	19	2	
	学級数(募集)	271	274	268	263	258
県内(県立全日)	欠員	325	324	334	224	

【私立高校】

鈴鹿	募集	470	480	475	475	470
	入学者数	456	435	445	500	

※欠員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

鈴鹿亀山地域の中学校卒業生進路先の推移

資料 4

(令和6年度第1回協議会【資料3】再掲)

鈴鹿亀山地域の状況

	卒業 年度	卒業 者数	鈴鹿亀山地域(全日制)										地域外(全日制)					定時制・通信制			その他
			県立							私立・高専		合計	県立			県内 私立・ 高専	県外	県内		県外	
			神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	計	鈴鹿	鈴鹿 高専		四日市 地域	津 地域	その他 地域			定時制	通信制		
2 市 の 合 計	R6. 3卒	2,413	235	66	160	100	130	153	844	339	49	1,232	325	338	46	147	36	64	95	68	62
		100%	9.7%	2.7%	6.6%	4.1%	5.4%	6.3%	35.0%	14.0%	2.0%	51.1%	13.5%	14.0%	1.9%	6.1%	1.5%	2.7%	3.9%	2.8%	2.6%
	R5. 3卒	2,221	202	72	128	83	129	166	780	290	49	1,119	323	315	40	152	29	47	80	56	60
		100%	9.1%	3.2%	5.8%	3.7%	5.8%	7.5%	35.1%	13.1%	2.2%	50.4%	14.5%	14.2%	1.8%	6.8%	1.3%	2.1%	3.6%	2.5%	2.7%
	R4. 3卒	2,409	229	73	141	83	145	167	838	299	62	1,199	355	344	52	159	43	57	73	72	55
		100%	9.5%	3.0%	5.9%	3.4%	6.0%	6.9%	34.8%	12.4%	2.6%	49.8%	14.7%	14.3%	2.2%	6.6%	1.8%	2.4%	3.0%	3.0%	2.3%
	R3. 3卒	2,259	192	73	125	86	140	169	785	308	51	1,144	374	335	43	129	28	35	53	66	52
		100%	8.5%	3.2%	5.5%	3.8%	6.2%	7.5%	34.7%	13.6%	2.3%	50.6%	16.6%	14.8%	1.9%	5.7%	1.2%	1.5%	2.3%	2.9%	2.3%

市別の状況

	卒業 年度	卒業 者数	鈴鹿亀山地域(全日制)										地域外(全日制)					定時制・通信制			その他
			県立							私立・高専		合計	県立			県内 私立・ 高専	県外	県内		県外	
			神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	計	鈴鹿	鈴鹿 高専		四日市 地域	津 地域	その他 地域			定時制	通信制		
鈴鹿市	R6.3卒	1,973	217	58	160	80	122	69	706	304	41	1,051	265	255	30	115	29	50	73	56	49
	R5.3卒	1,798	180	62	126	66	113	81	628	259	43	930	271	237	26	121	24	37	64	45	43
	R4.3卒	1,988	203	61	139	66	134	72	675	275	46	996	318	276	34	126	39	45	56	53	45
	R3.3卒	1,839	165	59	123	71	125	75	618	282	45	945	322	265	23	101	24	28	34	55	42
亀山市	R6.3卒	440	18	8	0	20	8	84	138	35	8	181	60	83	16	32	7	14	22	12	13
	R5.3卒	423	22	10	2	17	16	85	152	31	6	189	52	78	14	31	5	10	16	11	17
	R4.3卒	421	26	12	2	17	11	95	163	24	8	195	37	68	18	41	4	12	17	19	10
	R3.3卒	420	27	14	2	15	15	94	167	26	6	199	52	70	20	28	4	7	19	11	10

【 R 6 . 3 中学校卒業生（現高 1）の鈴鹿亀山地域全日制高校以外への進路先】

* 鈴鹿亀山地域外（全日制） 合計 8 9 2 人

- ・ 四日市地域県立 四日市(39)、四日市南(66)、四日市西(10)、朝明(3)、四日市四郷(13)、四日市工(90)
(325人) 四日市中央工(10)、四日市商(34)、四日市農(50)、菰野(4)、川越(6)
- ・ 津地域県立 津 (34)、津西(73)、津商(80)、津東(56)、津工(84)、久居(2)、久居農(7)、白山(2)
(338人)
- ・ その他地域県立 桑名(11)、桑名西(1)、桑名北(1)、いなべ総合(2)、上野(3)、あけぼの学園(11)、
(46人) 松阪工(6)、相可(3)、昴学園(5)、宇治山田(1)、宇治山田商業(1)、水産(1)
- ・ 県内私立・高専 津田学園(1)、暁(2)、海星(58)、四日市メリノール学院(2)、高田(55)、セントヨゼフ(1)
(147人) 三重(6)、皇学館(3)、鳥羽商船(14)、近大高専(5)
- ・ 県外 (36人) 県外国公立全日制(3)、県外私立全日制(33)

* 定時制・通信制・その他 合計 2 8 9 人

- ・ 県内定時制 (64人) 四工(5)、北星(9)、飯野(38)、みえ夢(12)
- ・ 県内通信制 (95人) 北星(13)、松阪(3)、大橋学園(53)、徳風(26)
- ・ 県外通信制 (68人) 県外通信制(68)
- ・ その他 (62人) 就職・専修学校・その他(41)、特別支援学校(21)

鈴鹿亀山地域の県立高等学校(全日制)卒業生の進路状況

【令和6年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
神戸	普通 理数	240	12	10	4	9	275
		87.3%	4.4%	3.6%	1.5%	3.3%	100.0%
飯野	応用デザイン 英語コミュニケーション	29	10	54	29	24	146
		19.9%	6.8%	37.0%	19.9%	16.4%	100.0%
白子	普通 文化教養	48	16	53	44	5	166
		28.9%	9.6%	31.9%	26.5%	3.0%	100.0%
	生活創造	2	4	18	12	2	38
		5.3%	10.5%	47.4%	31.6%	5.3%	100.0%
石薬師	普通	6	1	14	74	1	96
		6.3%	1.0%	14.6%	77.1%	1.0%	100.0%
稲生	普通 体育	22	7	39	107	10	185
		11.9%	3.8%	21.1%	57.8%	5.4%	100.0%
亀山	普通	37	8	12	20	1	78
		47.4%	10.3%	15.4%	25.6%	1.3%	100.0%
	システムメディア 総合生活	15	17	36	48	1	117
		12.8%	14.5%	30.8%	41.0%	0.9%	100.0%
普通科計 (普通科系専門学科含む)		382	54	182	278	50	946
		40.4%	5.7%	19.2%	29.4%	5.3%	100.0%
専門学科計		17	21	54	60	3	155
		11.0%	13.5%	34.8%	38.7%	1.9%	100.0%
総合学科計		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		399	75	236	338	53	1,101
		36.2%	6.8%	21.4%	30.7%	4.8%	100.0%

【令和5年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
神戸	普通 理数	257	16	17	2	15	307
		83.7%	5.2%	5.5%	0.7%	4.9%	100.0%
飯野	応用デザイン 英語コミュニケーション	33	8	44	28	26	139
		23.7%	5.8%	31.7%	20.1%	18.7%	100.0%
白子	普通 文化教養	45	15	53	47	6	166
		27.1%	9.0%	31.9%	28.3%	3.6%	100.0%
	生活創造	1	5	18	15	0	39
		2.6%	12.8%	46.2%	38.5%	0.0%	100.0%
石薬師	普通	3	2	19	83	3	110
		2.7%	1.8%	17.3%	75.5%	2.7%	100.0%
稲生	普通 体育	23	4	42	112	2	183
		12.6%	2.2%	23.0%	61.2%	1.1%	100.0%
亀山	普通	43	6	24	37	2	112
		38.4%	5.4%	21.4%	33.0%	1.8%	100.0%
	システムメディア 総合生活	17	14	35	54	0	120
		14.2%	11.7%	29.2%	45.0%	0.0%	100.0%
普通科計 (普通科系専門学科含む)		404	51	199	309	54	1,017
		39.7%	5.0%	19.6%	30.4%	5.3%	100.0%
専門学科計		18	19	53	69	0	159
		11.3%	11.9%	33.3%	43.4%	0.0%	100.0%
総合学科計		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		422	70	252	378	54	1,176
		35.9%	6.0%	21.4%	32.1%	4.6%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

※「短大」は高専を含む

※「四年制大学」は大学校を含む

※「その他」は進学待機を含む

鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて(令和7年度)

(令和6年度第1回協議会【資料8-②】再掲)

資料 6

	学校名	大学科※	入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8
全 日 制 課 程	県 立	神戸	280	【普通科】 ※2年生から文系・理系の類型に分かれる							
		飯野	160	【英語コミュニケーション科】 A(英語基礎力強化) B(ハイレベルな英語活動)							
		白子	240	【普通科】 進学コース 教養コース							
		石薬師	80	【普通科】 スタンダードコース アカデミックコース							
		稲生	160	【普通科】 アドバンスコース・食物調理コース・情報コース 自動車工業コース・ビジネスコース・介護福祉コース							
		亀山	200	【普通科】 アドバンス系列 セレクション系列							
	私 立	鈴鹿	470	普通科(特進コース・探究コース・総合コース)							
			※募集定員には中等教育学校後期課程(6年制)も含む								

全 2 8 学 級
普通科※ 2 4
専門学科 4
(家庭 2)
(情報 2)
総合学科 0

※大学科の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

○定時制課程 県立 飯野 80
○通信制課程 私立 徳風 240
○高等専門学校 国立 鈴鹿工業高専 200

普通科
普通科(総合コース、ドッグケアコース、パソコンコース、日本語コース、土日コース、平日サポートコース) ※技能連携あり
機械工学科(40)、電気電子工学科(40)、電子情報工学科(40)、生物応用化学科(40)、材料工学科(40)

鈴鹿亀山地域の県立高等学校における学びのバリエーション

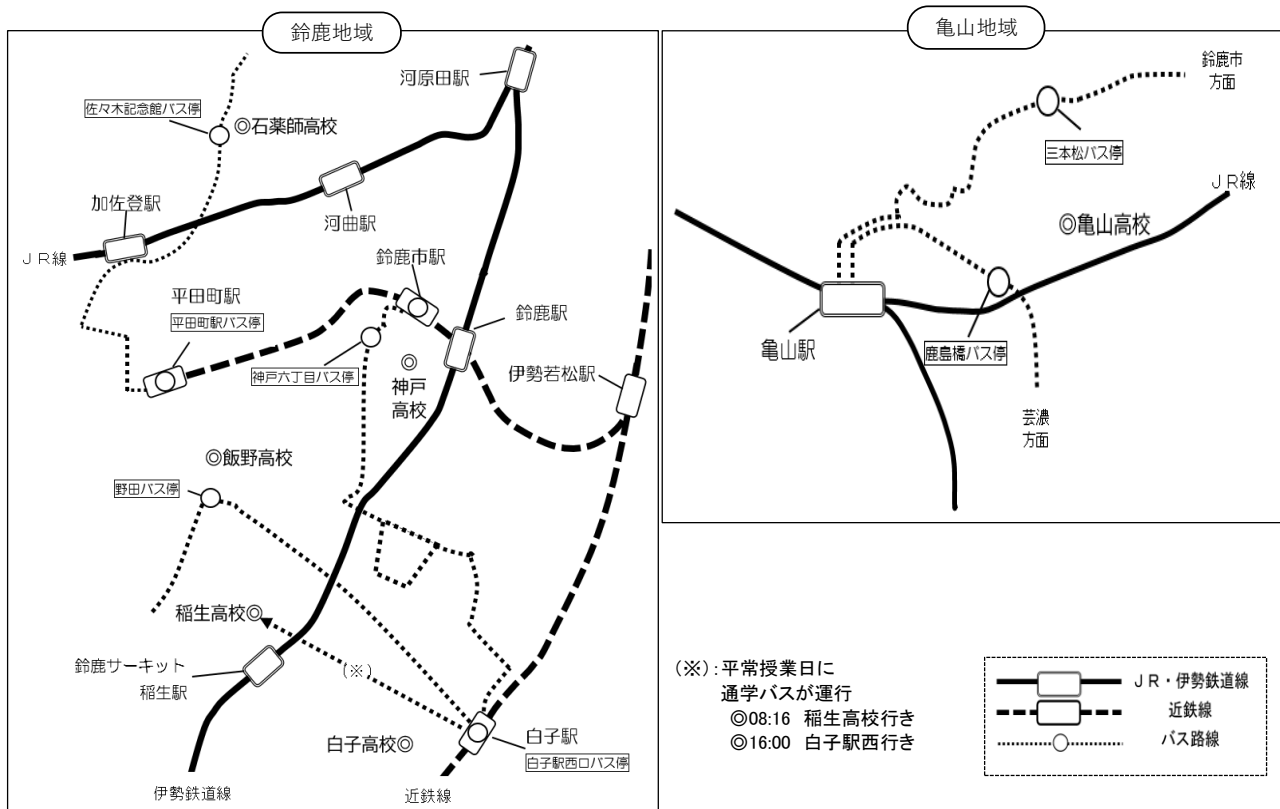
《 神戸⑦ 》	《 飯野④ 》	《 白子⑥ 》	《 石薬師② 》	《 稲生④ 》	《 亀山⑤ 》
普通科⑤ △理数科②	△応用デザイン科② ・デジタルデザイン ・美術 ・服飾デザイン △英語コミュニケーション科②	普通科④ 進学コース 教養コース ◇文化教養 (吹奏楽)コース① ☆生活創造科 【家庭】① ・服飾 ・食彩	普通科② アガミツコース スタグダートコース ☆総合生活科 【家庭】① ・食物文化 ・人間福祉 ・幼児教育	普通科③ アトバンスコース ◇自動車工業コース ◇情報コース ◇ビジュアルコース ◇食物調理コース ◇介護福祉コース △体育科①	普通科② アトバンス系列 レガジョン系列 ☆システムデザイン科 【情報】② ・ITシステム ・情報ビジュアル ・メディアデザイン ☆総合生活科 【家庭】① ・食物文化 ・人間福祉 ・幼児教育

△：普通科系専門学科 ☆：職業系専門学科 ◇：普通科の専門性の高いコース ・：学科内の専攻・コース

※○囲みの数字は令和7年度の1学年の学級数を示す

鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等

(1)通学における主な路線図



(2)通学方法別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

学校名		神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計
通学方法								
徒歩のみ		16	38	18	11	3	39	125
		1.8%	8.3%	2.5%	3.4%	0.6%	6.6%	3.6%
自転車のみ		462	123	256	189	334	294	1,658
		50.7%	26.8%	35.4%	58.3%	71.5%	50.0%	47.7%
単車のみ		7	0	0	0	0	0	7
		0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
JRのみ		16	11	0	39	38	70	174
		1.8%	2.4%	0.0%	12%	8.1%	12%	5.0%
私鉄のみ		211	112	213	0	0	0	536
		23.1%	24.4%	29.5%	0%	0.0%	0%	15.4%
バスのみ		32	24	6	16	1	38	117
		3.5%	5.2%	0.8%	4.9%	0.2%	6.5%	3.4%
JRと	私鉄	11	8	4	2	27	12	64
		1.2%	2%	1%	1%	5.8%	2%	1.8%
	バス	0	16	0	2	3	9	30
私鉄と		0.0%	3.5%	0.0%	0.6%	0.6%	1.5%	0.9%
	自転車	67	9	0	30	10	94	210
		7.3%	2.0%	0.0%	9.3%	2.1%	16%	6.0%
私鉄と	バス	12	23	12	8	5	1	61
		1.3%	5.0%	1.7%	2.5%	1.1%	0%	1.8%
	自転車	68	53	190	11	30	0	352
バスと		7.5%	11.5%	26.3%	3%	6.4%	0%	10.1%
	単車	1	0	0	0	0	0	1
		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	自転車	4	10	2	5	4	13	38
		0.4%	2.2%	0.3%	1.5%	0.9%	2%	1.1%
	その他 (車送迎、3つ以上の交通機関等)	5	32	22	11	12	18	100
		0.5%	7.0%	3.0%	3.4%	2.6%	3%	2.9%
合計		912	459	723	324	467	588	3,473

(3)通学費用別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

費用 \ 学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計	積み上げ
不要	434 47.6%	166 36.2%	278 38.5%	210 64.8%	338 72.4%	349 59.4%	1,775 51.1%	1,775 51.1%
3,000円以内	71 7.8%	14 3.1%	29 4.0%	20 6.2%	17 3.6%	14 2.4%	165 4.8%	1,940 55.9%
5,000円以内	237 26.0%	62 13.5%	256 35.4%	39 12.0%	21 4.5%	98 16.7%	713 20.5%	2,653 76.4%
7,000円以内	91 10.0%	123 26.8%	115 15.9%	24 7.4%	31 6.6%	55 9.4%	439 12.6%	3,092 89.0%
9,000円以内	35 3.8%	14 3.1%	18 2.5%	5 1.5%	16 3.4%	22 3.7%	110 3.2%	3,202 92.2%
11,000円以内	25 2.7%	25 5.4%	11 1.5%	10 3.1%	10 2.1%	26 4.4%	107 3.1%	3,309 95.3%
13,000円以内	10 1.1%	14 3.1%	1 0.1%	9 2.8%	12 2.6%	9 1.5%	55 1.6%	3,364 96.9%
15,000円以内	6 0.7%	14 3.1%	4 0.6%	3 0.9%	8 1.7%	10 1.7%	45 1.3%	3,409 98.2%
15,001円以上	3 0.3%	27 5.9%	11 1.5%	4 1.2%	14 3.0%	5 0.9%	64 1.8%	3,473 100.0%
合計	912	459	723	324	467	588	3,473	3,473

※通学費用は1か月あたりの費用

(4)通学時間別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

時間 \ 学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計	積み上げ
15分以内	143 15.7%	37 8.1%	143 19.8%	31 9.6%	96 20.6%	80 13.6%	530 15.3%	530 15.3%
30分以内	331 36.3%	93 20.3%	259 35.8%	94 29.0%	181 38.8%	203 34.5%	1,161 33.4%	1,691 48.7%
45分以内	229 25.1%	59 12.9%	151 20.9%	94 29.0%	93 19.9%	143 24.3%	769 22.1%	2,460 70.8%
60分以内	151 16.6%	81 17.6%	123 17.0%	71 21.9%	55 11.8%	126 21.4%	607 17.5%	3,067 88.3%
90分以内	55 6.0%	121 26.4%	41 5.7%	30 9.3%	30 6.4%	32 5.4%	309 8.9%	3,376 97.2%
120分以内	2 0.2%	56 12.2%	6 0.8%	3 0.9%	8 1.7%	4 0.7%	79 2.3%	3,455 99.5%
121分以上	1 0.1%	12 3%	0 0.0%	1 0.3%	4 0.9%	0 0%	18 0.5%	3,473 100.0%
合計	912	459	723	324	467	588	3,473	3,473

※通学時間は片道の所要時間

(5)自宅外通学生徒数

R6. 5. 1 学校基本調査より

種別 \ 学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計
下宿	0	2	8	2	0	0	12
寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	8	2	0	0	12

鈴鹿亀山地域の県立高校に関するアンケート結果について

1 生徒を対象としたアンケート結果

(1) 高校選びで重視すること (問6)

「学校の雰囲気・イメージ」(53.1%)、「通学のしやすさ・距離」(50.5%)に続いて、「文化祭や体育祭などの学校行事が充実している」(47.6%)、「学びたい学科やコースがある」(39.1%)、「自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる」(38.8%)の順となっている。

(2) 高校に期待する教育 (問8)

高等学校には、「自ら学び続ける力が身につく教育」(52.0%)、「基本的な知識が身につく教育」(48.0%)をはじめ、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育」(46.9%)、「社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育」(42.0%)を期待している。

(3) 希望する学級数について (問10)

多い順に「4～6学級」(47.9%)、「2～3学級」(32.3%)、「1学級」(13.4%)、続いて「7学級以上」(6.4%)となっている。

(4) 通学時間について (問11)

多い順に「60分以内まで」(54.0%)、「30分以内まで」(22.5%)、「90分以内まで」(16.8%)、「120分以内まで」(3.5%)、「121分以上」(3.2%)となっている。

(5) 将来生活する場所について (問12)

「まだ決まっていない、わからない」(40.4%)が最も多く、続いて、「県外」(20.0%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻りたい」(13.5%)、「地元」(12.3%)となっている。

2 保護者を対象としたアンケート結果

(1) 高校選びで重視すること（問6）

「学びたい学科やコースがあること」(69.6%)に続いて、「通学のしやすさ・距離」(69.3%)、「自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること」(58.7%)に続いて、「学校の雰囲気・イメージ」(41.8%)となっている。

(2) 高校に期待する教育（問8）

「自ら学び続ける力が身につく教育」と「社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育」(58.5%)をはじめ、「自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育」(50.4%)、「多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育」(49.6%)を期待している。

(3) 学級の規模について（問10）

多い順に「4～6学級」(53.7%)、「2～3学級」(28.2%)、「1学級」(11.3%)、続いて「7学級以上」(6.8%)となっている。

(4) 通学時間について（問11）

多い順に「60分以内まで」(70.7%)、「30分以内まで」(19.2%)、「90分以内まで」(9.0%)、「120分以内まで」(1.1%)、「121分以上」(0.1%)となっている。

(5) 将来生活する場所について（問12）

「本人の希望次第」(72.4%)が最も多く、続いて、「地元」(10.3%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい」(5.0%)、「特に考えはない」(3.3%)となっている。

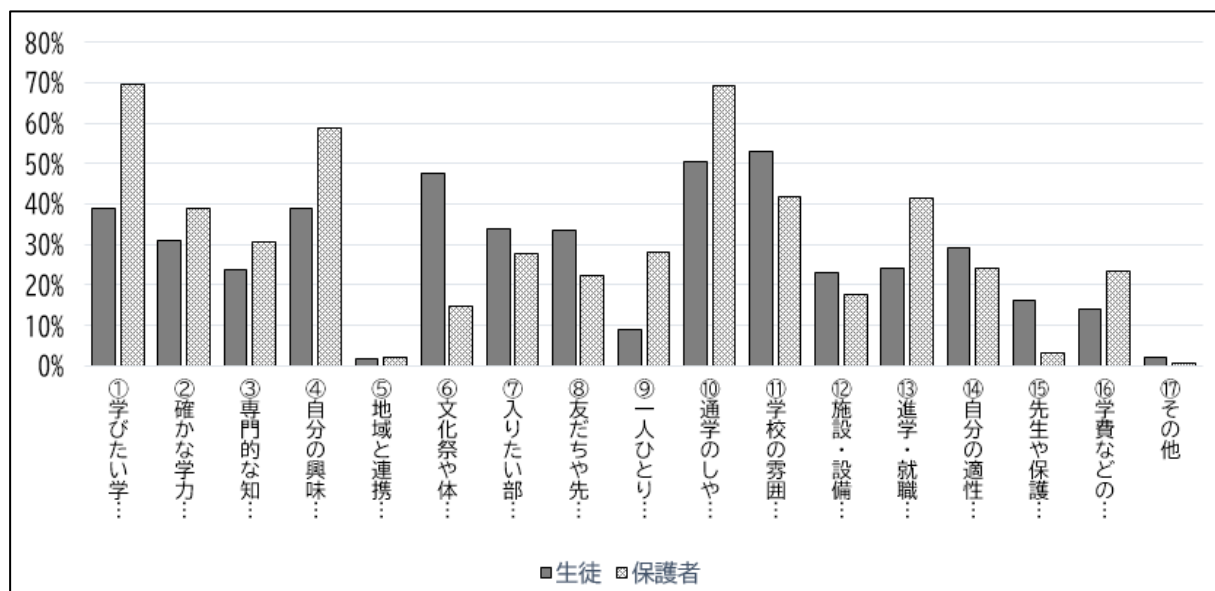
(6) 今後の鈴鹿亀山地域の県立高校のあり方について

今後の鈴鹿亀山地域の高校については、「一定の統合は避けられない」(71.8%)が最も多く、続いて「統合は避けるべき」(22.3%)、「積極的に統合を進めるべき」(5.9%)となっている。

3 生徒と保護者の回答の比較

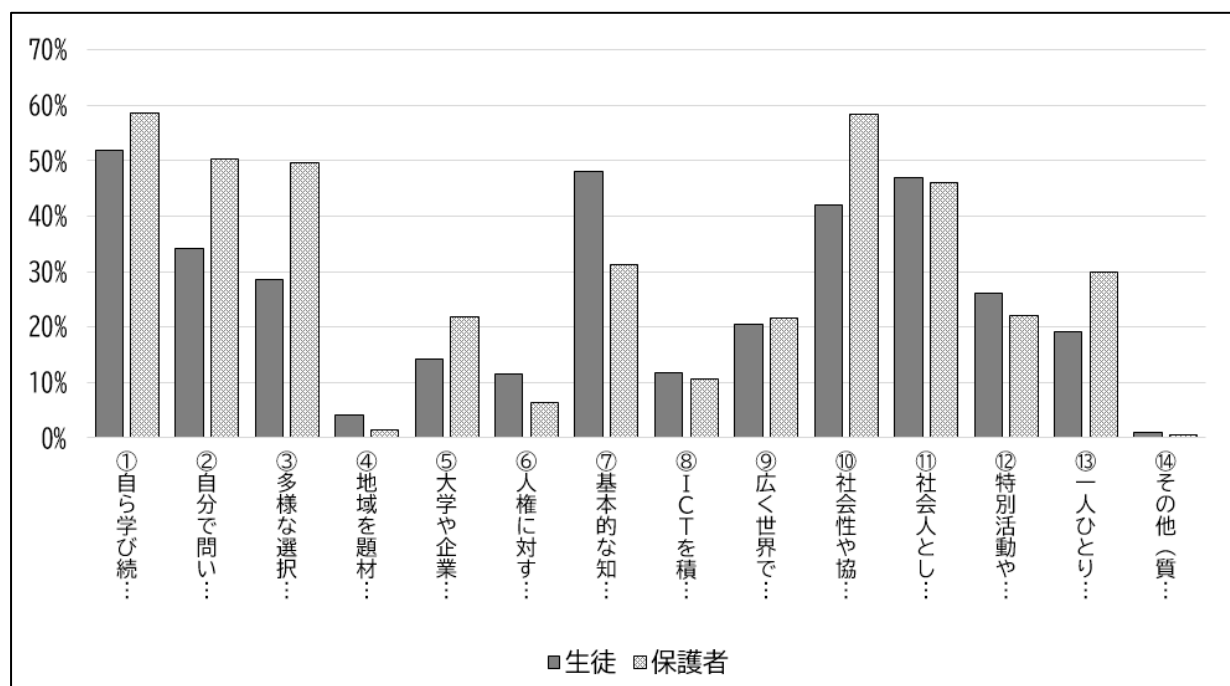
(1) 高校選びに重視すること (回答は6つ以内、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目	対象	生徒 (1,730人)	保護者 (1,960人)
① 学びたい学科やコースがある	④	676 39.1%	① 1,366 69.6%
② 確かな学力を身につける授業が充実している	⑧	539 31.2%	⑥ 764 38.9%
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できる	⑪	411 23.8%	⑦ 603 30.7%
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる	⑤	671 38.8%	③ 1,151 58.7%
⑤ 地域と連携した活動が充実している	⑰	29 1.7%	⑱ 43 2.2%
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している	③	824 47.6%	⑭ 288 14.7%
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている	⑥	586 33.9%	⑨ 541 27.6%
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会い	⑦	581 33.6%	⑫ 437 22.3%
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる	⑮	153 8.8%	⑧ 555 28.3%
⑩ 通学のしやすさ・距離	②	874 50.5%	② 1,359 69.3%
⑪ 学校の雰囲気・イメージ	①	919 53.1%	④ 821 41.8%
⑫ 施設・設備の充実	⑫	400 23.1%	⑬ 349 17.8%
⑬ 進学・就職の実績	⑩	419 24.2%	⑤ 815 41.5%
⑭ 自分の適性や能力	⑨	503 29.1%	⑩ 475 24.2%
⑮ 先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見	⑬	278 16.1%	⑮ 61 3.1%
⑯ 学費などの経費負担	⑭	244 14.1%	⑪ 457 23.3%
⑰ その他(質問7の自由記述へ)	⑯	35 2.0%	⑰ 11 0.6%



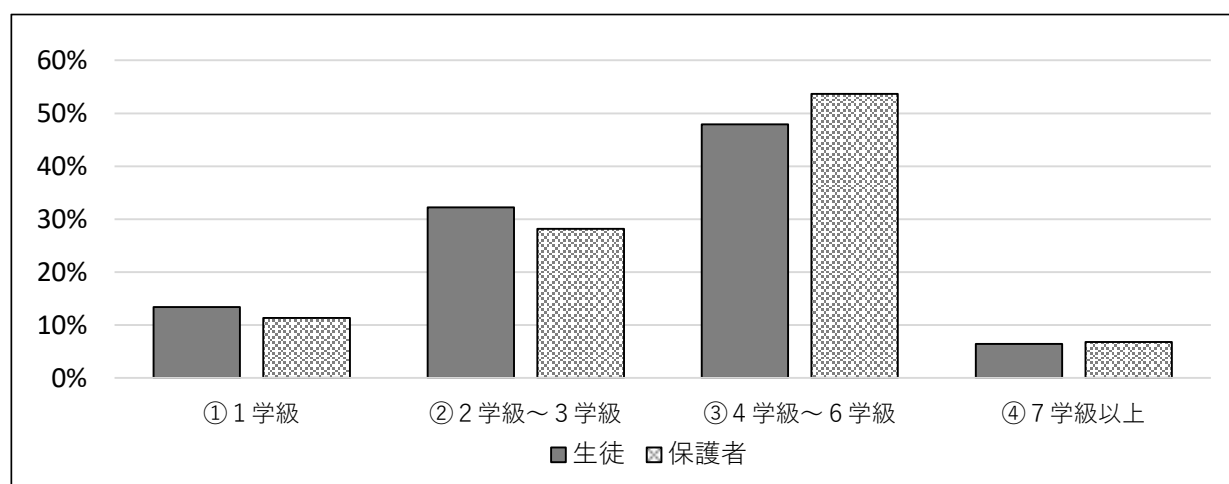
(2) 高校に期待する教育 (回答は5つ以内、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目	対象	生徒 (1,730人)		保護者 (1,962人)	
① 自ら学び続ける力が身につく教育		① 899	52.0%	① 1,148	58.5%
② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育		⑤ 590	34.1%	③ 988	50.4%
③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育		⑥ 496	28.7%	④ 974	49.6%
④ 地域を題材として学ぶ教育		⑬ 72	4.2%	⑬ 29	1.5%
⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育		⑩ 247	14.3%	⑨ 428	21.8%
⑥ 人権に対する意識が高まる教育		⑫ 199	11.5%	⑫ 126	6.4%
⑦ 基本的な知識が身につく教育		② 831	48.0%	⑥ 615	31.3%
⑧ ICTを積極的に活用する教育		⑪ 202	11.7%	⑪ 210	10.7%
⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育		⑧ 354	20.5%	⑩ 424	21.6%
⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育		④ 727	42.0%	② 1,147	58.5%
⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育		③ 811	46.9%	⑤ 905	46.1%
⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育		⑦ 453	26.2%	⑧ 431	22.0%
⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育		⑨ 332	19.2%	⑦ 586	29.9%
⑭ その他(質問9の自由記述へ)		⑭ 19	1.1%	⑭ 11	0.6%



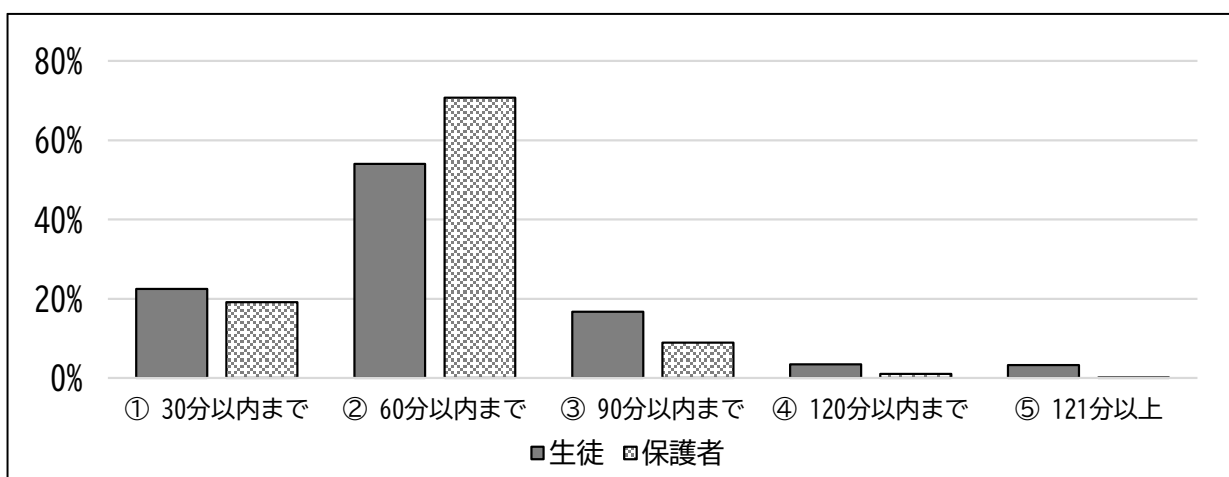
(3) 1学年当たりの学級規模 (回答は1つ、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目 \ 対象	生徒 (1,730人)		保護者 (1,962人)	
① 1学級 (40人)	③ 232	13.4%	③ 222	11.3%
② 2学級～3学級 (80～120人)	② 558	32.3%	② 553	28.2%
③ 4学級～6学級 (160～240人)	① 829	47.9%	① 1,053	53.7%
④ 7学級以上 (280人～)	④ 111	6.4%	④ 134	6.8%



(4) 進学したい高校までの通学時間 (回答は1つ、%は各回答者数に対する割合、○数字は多い順)

項目 \ 対象	生徒 (1,730人)		保護者 (1,962人)	
① 30分以内まで	② 389	22.5%	② 376	19.2%
② 60分以内まで	① 935	54.0%	① 1,387	70.7%
③ 90分以内まで	③ 290	16.8%	③ 176	9.0%
④ 120分以内まで	④ 60	3.5%	④ 21	1.1%
⑤ 121分以上	⑤ 56	3.2%	⑤ 2	0.1%



4 生徒と保護者の回答の比較より

(1)「高校選びで重視すること(17個の選択肢から6つ以内で選択)」について

(ア) 生徒、保護者の両者で各上位6つに選択された項目のうち、共通するもの

①学びたい学科やコースがある

生徒4位 676人(39.1%)、保護者1位 1,366人(69.6%)

④自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる

生徒5位 671人(38.8%)、保護者3位 1,151人(58.7%)

⑩通学のしやすさ・距離

生徒2位 874人(50.5%)、保護者2位 1,359人(69.3%)

⑪学校の雰囲気・イメージ

生徒1位 919人(53.1%)、保護者4位 821人(41.8%)

(イ) 生徒、保護者のどちらか一方で上位6つに選択された項目

②確かな学力を身につける授業が充実している

生徒8位 539人(31.2%)、保護者6位 764人(38.9%)

⑥文化祭や体育祭などの学校行事が充実している

生徒3位 824人(47.6%)、保護者14位 288人(14.7%)

⑦入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている

生徒6位 586人(33.9%)、保護者9位 541人(27.6%)

⑬進学・就職の実績

生徒10位 419人(24.2%)、保護者5位 815人(41.5%)

〈参考〉

生徒、保護者で下位2つ(その他を除く)に選択された項目

⑤地域と連携した活動が充実している

生徒17位 29人(1.7%)、保護者16位 43人(2.2%)

⑨一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる

生徒15位 153人(8.8%)、保護者8位 555人(28.3%)

⑮先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見

生徒13位 278人(16.1%)、保護者15位 61人(3.1%)

(2)「高校に期待する教育(14個の選択肢から5つ以内で選択)」について

(ア) 生徒、保護者の両者で各上位5つに選択された項目のうち、共通するもの

①自ら学び続ける力が身につく教育

生徒1位 899人(52.0%)、保護者1位 1,148人(58.5%)

②自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育

生徒5位 590人(34.1%)、保護者3位 988人(50.4%)

⑩社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育

生徒4位 727人(42.0%)、保護者2位 1,147人(58.5%)

⑪社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育

生徒3位 811人(46.9%)、保護者5位 905人(46.1%)

(イ) 生徒、保護者のどちらか一方で上位5つに選択された項目

③多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育

生徒 6 位 496 人 (28.7%)、保護者 4 位 974 人 (49.6%)

⑦基本的な知識が身につく教育

生徒 2 位 831 人 (48.0%)、保護者 6 位 615 人 (31.3%)

〈 参 考 〉

生徒、保護者で下位2つ(その他を除く)に選択された項目

④地域を題材として学ぶ教育

生徒 13 位 72 人 (4.2%)、保護者 13 位 29 人 (1.5%)

⑥人権に対する意識が高まる教育

生徒 12 位 199 人 (11.5%)、保護者 12 位 126 人 (6.4%)

(3) 「1 学年あたりの学級規模 (1 つ選択)」について

生徒、保護者とも「4 学級～6 学級」(生徒 47.9%、保護者 53.7%) と最も多く、次いで「2 学級～3 学級」(生徒 32.3%、保護者 28.2%)、「1 学級」(生徒 13.4%、保護者 11.3%)、「7 学級以上」(生徒 6.4%、保護者 6.8%) となっている。

(4) 「進学したい高校までの通学時間 (1 つ選択)」について

生徒、保護者とも「60 分以内まで」(生徒 54.0%、保護者 70.7%)、「30 分以内まで」(生徒 22.5%、保護者 19.2%) と続き、さらに「90 分以内まで」(生徒 16.8%、保護者 9.0%)、「120 分以内まで」(生徒 3.5%、保護者 1.1%) となっている。

これまでの協議会における主な意見 (令和5年度第1回から令和6年度第2回)

【鈴鹿亀山地域の高等学校について】

- 普通科のコースでは、専門教科の授業や実習が少ないため、専門学科と比較するとどうしても知識や技能に差が生じてしまう。また、当地域の事業所からは、おそらくこれまでに就職実績がある事業所や地元の事業所が優先されるためか、四日市市や津市の工業高校、商業高校に求人を出しても、生徒の応募がなく、人手不足であると聞いている。
- 当地域の県立高校の学びの選択肢がこのままであれば、15年先までにはかなりの学級数を減らさざるを得ない。しかし、四日市地域や津地域の専門高校へ一定数の生徒が流出していることをふまえると、鈴鹿市内の高校に工業、商業、農業などの職業系の専門学科を設置することで、学級数の減少を抑えることができるのではないかと。市内の事業所からも人手不足であるという声が大きくなっており、ぜひ設置を検討してほしい。
- 鈴鹿亀山地域の中学校卒業生の約4割が地域外の全日制高校へ進学しており、特に、当地域に設置されていない工業科や商業科へ一定数の生徒が進学している。そのため、これら職業系専門学科が当地域に設置されれば、子どもたちの地域外への移動が少なくなり、学級減の必要もなくなるのではないかと。
- 当地域に専門高校をつくったとしても、他地域の実績のある専門高校を上回る魅力がなければ、近いというだけで生徒は選んでくれないだろう。
- 少子化の中では、新たな専門学科の設置は難しいところもあるため、それぞれの県立高校は地域のニーズをふまえて特色化・魅力化に取り組んでいる。例えば、稲生高校の普通科では、6つのコースを設置し専門学科に近い学びを提供している。
- 工業高校を設置するには、施設整備のために多額の予算が必要となる。少子化が進む中であっては、既存の学科・コースの学びに予算を投入し、時代のニーズに沿った専門性の高い学びを充実させるほうがよいのではないかと。
- 大学進学を考えている中学生の多くが、四日市地域や津地域の普通科高校へ進学している。当地域の子どもたちを地域に残していくための取組をするべきではないかと。例えば、当地域に公立の中高一貫教育校を設置するのも、ニーズがあれば1つの選択肢になりうるのではないかと。
- 令和2年度に就学支援金制度が拡充されたことにより、県立高校と私立高校の経済的負担の差が小さくなったため、生徒は学校の特色をより重視して高校を選ぶようになってきている。県立高校の学びと配置のあり方については、私学の状況もふまえて総合的に考える必要がある。

【部活動について】

- アンケートでは高校の部活動に期待する声も大きいですが、中学校において部活動の地域移行についての議論が進められる中、高校の部活動を今後どうしていくのかについても重要な課題となるのではないかと。
- 部活動が充実していることは、高校を選択する際の大きな魅力の1つとなっている。全ての高校が小規模化されて、十分な部活動ができなくなってしまうよう、部活動の活性化という視点も大切にしてほしい。

【当地域の県立高校に求められる学びについて】

- 地元経済界としては、社会人としてのマナーや基本的生活習慣を身につけてもらった上で、DXに関わる教育や金融教育に力を入れてもらいたい。
- 保護者としては、大学進学や就職など、子どもたちの進路実現につながる学びを重視してもらいたい。
- アンケート結果を見ると、子どもたちは学校行事や部活動など、授業以外の活動にも期待していることがうかがえる。こうした子どもたちの思いをふまえ、地域のイベントに参加したり、協力したりするなど、地域社会とのつながりの中での学びがより充実することを期待したい。
- 中学校段階で、将来の進路を明確に決めるのは難しい生徒も多いため、稲生高校の普通科のように、多様なコースの中から、入学後に自分の興味関心に応じてコースを選択できるのは大きな魅力となっている。また、工業や商業などの専門学科と同じような資格取得が可能となれば、より魅力が高まるのではないか。専攻科の設置など、当地域の魅力や特徴を生かした新しい取組を検討してみてもどうか。
- アンケート結果を見ると、少子化の中にあっても子どもや保護者の希望は今も昔も大きくは変わらないように感じる。学級減に伴う教員数の減少を補うため、オンラインで学校間をつないで授業を行ったり、大学との連携を進めて、大学生との交流を増やしたりしてはどうか。

【地域との関わりについて】

- 地元の高校で学んだ生徒が、地元就職することも大切であるが、他地域の高校で学んだ生徒や県外の大学に進学した生徒が、地元に戻って働きたいと思えたり、それを実現できたりする仕組みづくりも必要である。
- 人の役に立ちたい、地域の力になりたいと思っている地元志向が強い中学生は多い。四日市地域や津地域へ進学する生徒も一定数いるものの、当地域の各県立高校のニーズは高いと感じている。
- 地元で働きたいと考えている子どもたちに対し、将来、地域での活躍につながる特色のある学科を設置したり、地域の大学と連携して、高校から大学まで一貫した教育を進めていったりするといった方向性も考えられるのではないか。
- 小学生にとって高校生は憧れの存在であるため、高校生が小学生に専門性を生かした出前授業をしてくれたり、地域の行事で輝いている高校生の姿を小学生が見たりする機会を増やせると、地域の高校に進学したいと思う子どもたちを増やすことができるのではないか。

【多様な子どもたちの状況と学習環境への対応について】

- 全国的に不登校の児童生徒が増加していることから、中学校までにしっかりと学ぶことができなかった子どもたちの学び直しの場合も高校には必要ではないか。
- 当地域の小中学校には外国につながる子どもたちが多く在籍していることから、高校においても、外国につながる生徒を受け入れ、学びを支えていくという視点が大切である。
- 小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者からは、特別支援学校の高等部ではなく、県立高校への進学を考えた場合、選択肢が限られるという声を聞く。特別な支援を必要とする子どもたちや外国につながる子どもたち、不登校の子どもたちが増えている中で、こうした子どもたちが高校で安心して学べる教育環境を保障してほしい。

【交通に係る課題について】

- 亀山市から鈴鹿市内の高校へは交通の便がよくないため、亀山高校かＪＲ沿線の四日市市や津市の高校を選択する生徒が多い。鈴鹿市内の高校へ通いたいと思う子どもたちのために、路線バスの経路の見直しや通学バスの運行などの支援をお願いしたい。
- 鈴鹿市と亀山市がそれぞれ独自で運行するコミュニティバスについて、市を越えて連携させ、鈴鹿・亀山間の交通の利便性の向上が図られるよう、当協議会から行政へ提言することを検討してはどうか。

【今後の協議に必要な視点や進め方について】

- 令和10年度以降も中学校卒業者数はさらに減少していくことを見据え、県立高校の学びと配置のあり方を考えていく必要がある。また、令和7年度中に、協議会としての一定の結論を出すためにもスケジュール感を持って協議を進める必要がある。
- 当地域の高校の統廃合や学級減を考える際には、他地域の職業系専門学科への進学をどう捉えるのかを議論する必要がある。
- 小規模な高校では、生徒一人ひとりに丁寧な指導が行き届くというメリットがあると聞いている。一方で、いじめ等があった場合に、クラス替えが難しいなど、生徒の安心できる場の確保が難しく、その結果、退学を選択せざるをえなくなるケースがあるとも聞いている。統合や学級減を検討する際には、いじめ防止の観点からも慎重に考えてほしい。
- アンケート結果から、小規模校を望む声は一定数あるため、仮に再編することになったとしても、小規模校で行ってきた学びは、地域の高校で引き継いでいく必要がある。
- 学校規模が大きくなると教員数も増えるため、多様な選択科目を開講できたり、学校行事や部活動が活発になったりする。子どもたちがさまざまな選択ができるという点においては、統合によるスケールメリットは大きいと感じている。
- 高校ではある程度の学級数がないと充実した教育そのものが難しくなることが想定される。当地域は、他地域と比べると小規模の高校が多いことから、通学環境も考慮して、近鉄沿線に高校を統合していくのがよいのではないかな。
- 国公立大学や難関私立大学への進学ニーズに応える一定規模の普通科高校が当地域に必要であり、各教科の教員数などをふまえると、理想は1学年8学級、最低でも6学級はあったほうがよい。
- アンケート結果を見ると、小学校、中学校、高校と校種があがるにつれて、だんだんと大きな集団の中で学び、多種多様な選択肢から自分にあったものを選んで社会に出ていくといった教育環境が求められているのは、今も昔も変わらないと感じる。こうした環境を維持するため、これまでに統合を行った高校のその後についての検証も行いながら、当地域の高校の再編について検討を進めてほしい。
- 現在の高校が、それぞれの特色を生かして存続できるとよいと思う一方で、通学時間を考慮する必要があるが、統合してよりよい学校ができるのであれば、それでよいとも感じている。
- 中学校段階で自身の進路が明確となっている子どもは少なく、高校に入ってから自分のやりたいことを見つけないという生徒が多い。そのため、再編したとしてもオーソドックスな普通科は残してほしい。
- アンケート結果から、「積極的に統合すべき」、「一定の統合は避けられない」という回答が7割を超えており、当地域でも県立高校6校の再編も含めた検討を進めていかなければならない。そのためにも、事務局から具体的な対応について、複数の案を示してほしい。

令和21年度までの鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の総学級数と当協議会の協議について

資料 11

令和7年度(現中3) 地域の中学校卒業予定者数 2,267人(前年度比▲146) 募集定員1,120人	令和9年度(現中1) 地域の中学校卒業予定者数 2,218人 (R7年度比 ▲49)	令和10年度(現小6) 地域の中学校卒業予定者数 2,117人 (R7年度比 ▲150)	令和15年度(現小1) 地域の中学校卒業予定者数 1,783人 (R7年度比 ▲484)	令和21年度 地域の中学校卒業予定者数 1,425人 (R7年度比 ▲842)
--	---	---	---	--

28 学級		27 学級程度		25 学級程度		18～20 学級程度		13～15 学級程度	
神戸高校	(普7)	鈴鹿亀山地域の 県立高校 (全日制)		鈴鹿亀山地域の 県立高校 (全日制)		鈴鹿亀山地域の 県立高校 (全日制)		鈴鹿亀山地域の 県立高校 (全日制)	
飯野高校	(普4)								
白子高校	(普5・専1)								
石薬師高校	(普2)								
稻生高校	(普4)								
亀山高校	(普2・専3)								

